

2019年

9月号 No. 103
毎月6日発行



原水協通信 (茨城版)

原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281 茨城平和会館内
TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生

原水協通信
頒価 ¥220/月

ヒバクシャ国際署名
45,719筆
('19.9/4現在)



2020年版いわさきちひろカレンダー(A2版、表紙とも7枚)について

- ★頒布価格 1,400円+税(1,512円) 団体卸980円：差額は団体・地域の還元金とします。
- ★発送費 一箱(25部)以上は送料無料とします。
- ★被災地への贈呈個人：1口1,000円(1本につき)及び団体は900円のカンパ
 1. カレンダーは茨城県原水協がまとめ、日本原水協からお渡しします。
 2. 個人1口1,000円及び団体は1口2万円(一箱25本、送料込み)単位で、郵送またはFaxでお願いします。
 3. 料金(カレンダー1本につき1,000円但し、団体扱は900円)を直接または郵便振り込みでお願いします。団体還元金は1本につき100円です。

申込先：原水爆禁止茨城県協議会
〒310-0912 水戸市見川 5-127-281
電話・Fax 029-251-9919
郵便振り込み
00190-4-661348 原水爆禁止茨城県協議会

核兵器禁止条約の日本政府へ批准を求める 意見書の請願を訴えます

地域の団体にも訴えて、意見書の請願を12月議会に向けてお願いします。県原水協に意見書の案文がありますので、必要な地域・団体はご連絡ください。

原爆写真展報告(大洗)

実施日時：2019年8月6日～8日
共催：大洗町
会場：大洗町漁村センター
原爆写真と「原爆の絵(高校生・被爆者共同制作)」展示
総来場者数 三日間で合計66人
被爆者援護募金：1,516円
ヒバクシャ国際署名：7筆



「原爆の絵」展示(左)と宣伝ポスター(右)

新婦人みと支部ニュース(No. 787)から

やまゆり班 第10回「平和パネル展」&体験会にゲスト8人

8/2(金)～8/4(日)今年で10回目の「平和パネル展」を城里町コミュニティーセンターで開催しました。

今年は「平和パネル展」の裏に、吹き矢体験会とピラティスの体験会を入れたチラシを、城里町の小、中学校全体に1,200枚配布。手まき70枚と、5000枚を新聞に折り込みました。チラシを見ての問い合わせが6件あり、嬉しい悲鳴でした。

核兵器禁止条約は、50か国目の批准書が国連事務総長に寄託されてから90日後に発効します。

核兵器禁止条約に調印した国一覧(2019年8月29日現在、70か国)★は批准した国)

アルジェリア、アンゴラ、アンティグア・バーブーダ、★オーストリア、バングラデシュ、ベナン、★ボリビア、ブラジル、ブルネイ、カーボベルデ、カンボジア、中央アフリカ共和国、チリ、コロンビア、コモロ、コンゴ、★クック諸島、★コスタリカ、コートジボワール、★キューバ、コンゴ民主共和国、ドミニカ共和国、エクアドル、★エルサルバドル、フィジー、★ガンビア、ガーナ、グアテマラ、ギニアビサウ、★ガイアナ、★バチカン市国、ホンジュラス、インドネシア、アイルランド、ジャマイカ、★カザフスタン、キリバス、ラオス、リビア、リヒテンシュタイン、マダガスカル、マラウイ、マレーシア、★メキシコ、ミャンマー、ナミビア、ネパール、★ニュージーランド、★ニカラグア、ナイジェリア、★パラオ、★パレスチナ、★パナマ、パラグアイ、ペルー、フィリピン、★セントルシア、★セントビンセント及びグレナディーン諸島、★サモア、★サンマリノ、サントメ・プリンシペ、セーシェル、★南アフリカ、★タイ、東ティモール、トーゴ、ツバル、★ウルグアイ、★ヴァヌアツ、★ベネズエラ、★ベトナム

ソ連は1949年から89年にかけて、セミパラチンスク(カザフスタン)で450回を超える核実験を実施し、壊滅的な健康への影響がありました。1991年に核実験場が閉鎖されてからちょうど28年後の今日、カザフスタンが批准しました。

今月の草花



「憎まれっ子世にはばかる」と言いますが、これくらい憎まれても花も珍しい。花の端境期には、蜂が群れをなしてこの花に寄ってきます。そういう意味でも、実は貴重な存在なのです。(柳)

セイタカアワダチソウ(開花期10月～11月)
今回は皆さんおなじみの「セイタカアワダチソウ」をご紹介します。北米原産の帰化植物で、一時は日本全土を黄色で覆いつくさんばかりの勢いでした。抜けば抜くほど残った根から芽を出し、花粉アレルギーの元凶とも言われたこともありましたが、実際にはさほど花粉は出ません。

県平和委員会と協力して広島の基町高校生の描いた「原爆の絵」の展示会が8月までに17か所で開催。引き続き取り組みましょう。63枚組5セットを用意しています。申し込み先は県原水協又は県平和委員会。

全県に広がる「原爆の絵」展示会

2020年NPT再検討会議&世界大会in NY行こう!!

来年2020年春、ニューヨークで5年毎開催のNPT再検討会議と、アメリカで初めて世界大会に開かれます。「核なき世界」実現のため、国際共同行動に参加する代表団を派遣します。

つきましては、あらゆる逆流に抗して核兵器廃絶の向けた前進を勝ち取るため、草の根運動により全国各地から訪米代表団を送り出しましょう!

★ ニューヨーク基本コース(5泊7日)9便

4月23日(木) ニューヨーク到着
24日(金)、25日(土) 世界大会ニューヨーク
26日(日) マンハッタンパレード、署名の共同提出など
27日(月) NPT再検討会議開会、ニューヨーク市内観光
28日(火) 現地出発 29日(水) 日本到着

★ 参加費

基本コース：31～33万円前後/各地訪問コース：38～43万円前後

★ 募集2020年2月末：予定

10月末：第一次締め切り(ホテルのキャンセルなどがあるため)

詳細は、日本原水協事務局へTel:03-5842-6031 Fax:03-5842-6033

すでに三人の方からお申し込みがあります。「県」からの代表10人～20人の派遣を見込んでおります。参加者は資金カンパ、「ヒバクシャ国際署名」の署名数の自主目標を決め、NY行動にその成果を持ち寄りましょう。

2019年原水爆世界大会長崎大会参加報告

安倍首相の「戦争のできる国づくり」を阻止し、憲法9条を守る大事な参議院選挙の闘いは、1人区32選挙区での野党共闘と市民連合の共闘、安倍NO!3000万署名の運動の結果、10議席の統一候補の当選と、自民党の改選前9議席減、憲法改正勢力の3分の2以下を招き、核兵器をなくし公正な社会の実現に希望を持てる、勇気と展望を与えるものとなりました。

茨城県原水協は長崎大会への派遣目標を30名として、各地域団体へ呼びかけましたが、このような闘いの中、新婦人の会つくば支部、竜ヶ崎原水協、茨城労連、保健生協、翠清福祉会、東海原水協、大洗平和の会、全農林筑波分会、鹿行民商、茨城県原水協事務局の各団体から、小学生1名を含む14名と、この他に、茨厚労から9名の参加でした。事故もなく、無事、茨城に帰る事が出来ました。本当にご苦労様でした。

事務局としては、早くから日本旅行社に、茨城空港の飛行機の利用と宿の確保をお願いしたのですが、宿泊費が高額で長崎市内から離れて不便な宿の紹介でした。宿泊は、キャンセルして、自前で8月7日は東横インを、8日は長崎市内から離れた小浜温泉の雲仙荘に確保しました。このため、開会式は日程的に余裕がなく、また、閉会式は市内の渋滞で到着がぎりぎりななり、その上、会場が狭く、茨城県の割り当ての場所に席の確保が難しくいずれもまとまる事が出来なかった。

しかし、8日の小浜温泉での交流会は、安く、料理もおいしく満足のいくものでした。自己紹介と楽しい決意も含めた意見交流ができました。

原水爆禁止世界大会は、世界各国の代表を含め、核兵器を無くすために力を合わせる4,000人余の参加した。2020年の核兵器禁止条約の発効の実現に向け、運動に確信の持てるものでした。その流れを促進する「ヒバクシャ国際署名」を本気で取り組む、決意を示す大会でした。

記 事務局担当 加藤

第1回常任理事会報告

参加14名、文書による参加1名、欠席4名。

1. 主な意見

- ① 平和行進の道程が長すぎる、検討してほしい。
(石岡～荒川沖コース、つくば～龍ヶ崎コース)
- ② 通し行進者の障害保険の検討して欲しい。
- ③ コース間の引き継ぎも含めた連絡の改善
- ④ 大会のしおり案内図に住所を入れてほしい。

2. 世界大会参加者報告会の開催予定

- 9.7 石岡 9.26 水郡線 報告と総括会議
9.28 龍ヶ崎 報告とパネル展など

3. 「戦争と平和」パネル展の開催について

7月から8月にかけて、県内の平和の会と地域の団体と18か所で開催。「原爆の絵」「戦場の人々」の展示や水戸空襲の紙芝居、映画「望郷の鐘」など。

引き続き「原爆の絵」パネル展と「ヒバクシャ国際署名」の取り組みをお願いします。

★「ちひろ」のチケットがまだ残っています。どうぞ、お運びください。

9月22日(日)ひたちなか市文化会館大ホール

開場13:00 開演14:00



書籍紹介

2017年12月、I CAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)のノーベル平和賞の授賞式で被爆者としてスピーチしたサーローさんの力強い言葉の数々は、世界中に感銘を与えました。その反核運動に邁進した



人生とは?子ども時代の思い出から被爆体験、渡米して直面した「原爆が戦争を早く終わらせた」とのバッシング、世界の平和活動家たちとの連携、若い世代へのメッセージなど、不屈の生涯の全貌を伝えます。

サーロー節子
/ 金崎由美著

岩波書店：
1,800円+税

編集後記

「国民平和大行進」は皆様の協力により、無事に終了できました。そしてそれを世界大会につなぎ、新たな力の原動力になったことと幸いです。

徴用工問題で、嫌韓ムードがますます高まっております。そのせいで、来年に予定されている東京オリンピックの南北統一チームの参加も危ぶまれています。

愛知で開かれた「表現の自由展」の公権力による中断は、民主主義の危機を感じます。これを容認するならば全国に広がり、窒息していくのではないのでしょうか。愛知県知事や名古屋市長は憲法を守らなくてもいいのでしょうか。このことは、決して「対岸の火事」ではすまされません。

最近「チャップリンとヒトラー(岩波書店)」を読みました。私はこの本から教えられたことは、憲法が存在しているうちに「アベ・ゲート」事件を暴かなくてはならないと、痛切に感じました。(柳)

